

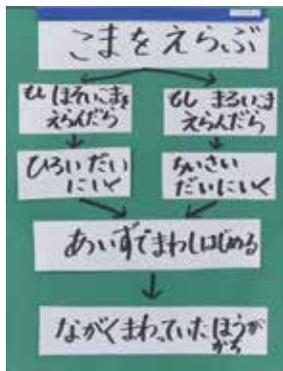
ミング教育

Education

小学校 2020年度から

学校取材しました!

徳倉小学校



1年生が「生活」で考えたフローチャート

幼稚園児との遊戯会に向け、ゲームのルールをまとめました。フローチャートの作成はプログラムの基本です。

子どもたちが社会を担う20年後を見据えた教育 プログラマを育てる、のではない

「プログラミング的思考」の獲得

徳倉小学校では平成30年度から全学年でプログラミング教育を実施・研究しています。

しかし、プログラミング教育はプログラマ・エンジニアの育成を目的にしているわけではありません。

ねらいは、コンピューター

タへの動作を命令する

のに必要な論理的思考力

と、失敗したときに原因

を探索する力の育成。

そして、一人で解決できな

い問題を友だちと共に糸口を

見つける力を身に付けること

です。



4年生は「国語」で創作した物語を発表

4コマ漫画を題材に、自分なりの物語を創作。パソコンにプログラムしたストーリーを互いに披露しました。

子どもと教員の反応は?

子どもたちはパソコンやタブレットとの親和性が高く、このような情報機器を取り入れることで、算数や国語といった通常の教科でも興味を持てるようになるといったメリットもあります。

昨年度一年間の授業を終え、学校が児童に行ったアンケートでは「物事のやり方を決めるとき、次のことを考えながら行動する」「失敗をくり返すこと」で、どのように指示すればやりたいように動かせるかがわかる」との感想が聞かれています。

2020年に向けて

教員からは「順序立てて説明できるようにするための課題の作り方が身についた」という声が上がると、教えたことを通常の学習や生活に応用する様子が見られます。

予算や教職員の負担、子どもたちの習熟度など課題も多いプログラミング教育ですが、来年度の必修化に向けて準備が進んでいます。

必修化

プログラ

..... programming

中学校
2021年度から

そこで！
ICT技術を活用する

中郷西中学校

模造紙で発表する時代は終わり……？

タブレットで調べ学習もスムーズに

体育・受験勉強でも活用中

中郷西中学校では生徒たちが
当たり前前にタブレットを使いこ
なす姿が見られます。例えば体
育の授業でマット運動を行う様
子を撮影する、家庭学習支援
サービス「eライブラリ」で公
立高校試験の過去問をダウン
ロードするなど。さまざまな場
面で活用されています。

発表はプレゼンソフトを使って

また、パソコン室で作成した
資料をタブレットで持ち出し、
各教室で調べ学習の発表を行う
こともできます。

資料はタブレットから
教室のモニターに投影



11月15日(金)に行われた
2年生の社会科の授業、
テーマは「日本の地理：
近畿編」。
生徒たちは班ごとに京都
の寺社仏閣を調査・発表
しました。



教員からは「情報機器を利
用すると生徒からの反応が良
い。ただ授業を聞いているよ
り学びも深まる」との声が聞
かれました。

一歩進んで「電子投票」も

「模擬選挙」の授業では、生
徒たちは三島の有権者人口
データを基に、あらゆる産業
構成・年齢・性別の役割が与
えられ、それぞれの立場から
候補者の施策を評価。

投票はタブレットから行わ
れ、結果はすぐモニターに表
示。立場ごとに様々な考え方
があることを理解することも
に、選挙に興味を持つことが
できました。

市の取り組み

充実したICT教育を提供
するため、計画的に全中小学
校の全クラスに電子黒板を導
入するなど、県下でも先進的
に環境整備を行っています。

地域との関わり

ICT教育のような新しい
教育は大切ですが、子どもた
ちを導く教員は対応に苦勞す
ることもあるようです。文部
科学省が平成28年に公表した
教員勤務実態調査によると、
教諭の1日当たりの学内勤務
時間は

- ・小学校で平均11時間15分
- ・中学校で平均11時間32分
- と、勤務時間の長さが目立ち
ます。

そこで、教師が腰を据えて
子どもたちと向き合う時間を
作り出すべく、地域の大人た
ちが学校で活動する場面が増
えています。

ここからはそんな方々を紹
介しながら、地域と学校の関
わりを見ていきます。